第 119 回日展

第 1 科（日本画）　審査所感

審査主任　土　屋　禮　一

外部審査員として富山県水墨美術館桐井昇子館長、姫路市立美術館学芸統括　吉中充代氏に加わっていただき三日間の審査を終えた。日本画の絵の具は色である前に性格を含み、まるで人間関係のように対手をより理解しているかが大切です。受援力と云いますが、絵の具の美しさにいかに助けられ上手になるかと云うことです。

今回特選の他に未央賞と云う新しい賞も出来、審査員一同が大いに意見を交わす結果とも繋がり、それがより魅力的な受賞作品を選び出すことになったと思っています。ただ作品が良かったと云うだけではなく、これからの活躍を期待しての賞ですから、それをお忘れのないよう。

今回搬入点数は少し減る結果となりましたが、日展を目指して努力している方々は変わらないことにとても嬉しく思いました。

搬入数　319 点

入選数　124 点

（内新入選）　17 点